

2015 環境・安全レポート

〈レスポンシブル・ケア活動報告〉



東工場



西製造所

1. はじめに

当工場は、茨城県鹿島コンビナート内にて1970年に操業を開始し、東部地区と西部地区の2地区で地域の方々との交流を大切にしながら化学品と食品を製造してまいりました。私どもA D E K Aグループの経営理念である「新しい潮流の変化に鋭敏であり続けるアグレッシブな先進企業を目指す」「世界とともに生きる」の下、化学品と食品の両分野で暮らしに欠かせない製品・サービスの提供を通して、健康で豊かな社会の実現に積極的に貢献し続けたいと考えています。また、現在C S Rの基本方針として「人と技術の優しい調和（ハーモニー）」「社会との融和」を掲げ、環境・安全対策に最大限の努力を払い、「品質」「環境」「労働」「設備」に対する「4つの安全」を「4つの安心」まで高め、社会やお客様からより高い信頼が得られるよう努めています。

環境・労働安全を更に改善させるため、鹿島工場では3つのマネジメントシステム（ISO9001、ISO14001、OHSAS18001）を1つに統合したマネジメントシステム（IMS；Integrated Management System）による運営を進めてきており、更に食品部門ではFSSC22000を加え、より信頼される工場創りに努めています。

地域の皆様との共存共栄に配慮した工場運営を行い、地域社会全体の発展に貢献する様に各活動を更に推進して参ります。当工場の環境保全・安全管理対策の諸活動を皆様にご理解頂くと共に、今後とも何卒変わらぬご支援、ご鞭撻を賜ります様お願い申し上げます。

[報告対象期間]

2014年4月～2015年3月

2015年9月

株式会社A D E K A

鹿島工場長 角田 憲康



2. 鹿島工場方針

鹿島工場方針

5Sを基盤にIMSを工場経営の基幹システムとして有効活用し、マザー工場として社会とともに持続的な成長を目指す。

当工場は、4つの安全（品質・環境・労働・設備）を統合システムで効率的、効果的に運営します。

1. 決め事を守る習慣の定着と意識の向上を図ります。
 - ・お客様の要求を満たす事とコンプライアンス遵守の重要性を各人が自覚します。
2. 安全衛生・環境保安の確保と品質の保証を徹底します。
 - ・無災害の継続を推進します。
 - ・安心・安全な製品とサービスを提供します。
 - ・廃棄物削減・省エネルギー・汚染の予防に努め、地球に優しい物づくりを推進します。
3. トップダウンとボトムアップの調和により改善意識の向上を図ります。
 - ・予算実行方針を定め、その実現に向けた活動を推進します。
 - ・定期的なレビューを実施します。
 - ・継続的改善に努めます。
4. コンビナートの一員として地域社会との調和の充実に努めます。

尚、本方針は当工場に關係する全ての人々に周知し、外部からの要求等に応じて公表します。

〔2014年度目標〕

1. 産業廃棄物の削減
 - (1) 廃棄物発生量の削減
対前年度比1%削減
 - (2) ゼロエミッションの継続
2. 省エネルギーの推進
 - (1) エネルギー原単位
対前年度比1%改善
3. 温室効果ガスの排出削減
 - (2) 炭酸ガス排出量
対前年度比1%改善

3. 環境管理活動

1) 管理推進体制と組織

当工場の環境・安全マネジメントシステムでは、常駐協力会社を含めた全ての部門及び階層の役割、責任、権限を明確に定めています。

工場長は、組織を統括し、教育・訓練で従業員の力量を確実なものにするため必要な体制を整備すると共に、必要な資源（人・技術・設備・資金）を確保し、また、環境・安全に関する意思決定機関として、全部門の代表者で構成する「RC委員会」を設置し、環境・安全管理の徹底を推進しています。

2) 環境活動

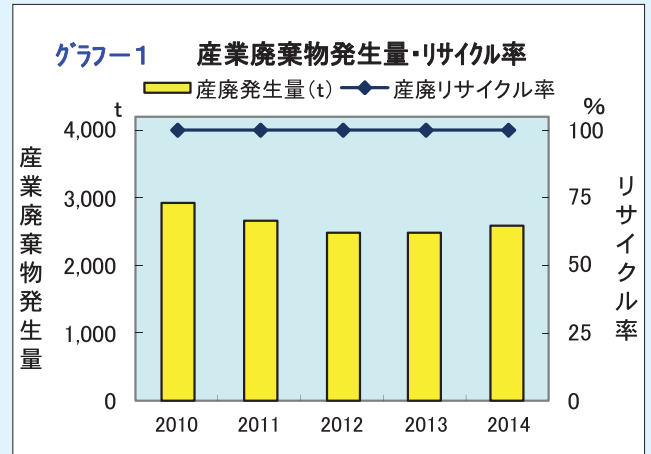
(1) 環境パフォーマンス

① 産業廃棄物の削減とその有効利用

産業廃棄物については、極力発生させない工夫を行なうと共に、リサイクルや有価物化による有効利用を図ることにより環境負荷の低減に努めています。

2014年度の結果：(グラフー1)

- ・産業廃棄物発生量について、2014年度は対前年度1%の削減を目標にしましたが、原料品質悪化に伴う副生物の増加により目標未達となりました。
- ・リサイクル率は、ゼロエミッション(発生量の0.5%未満)を2006年度より継続中です。

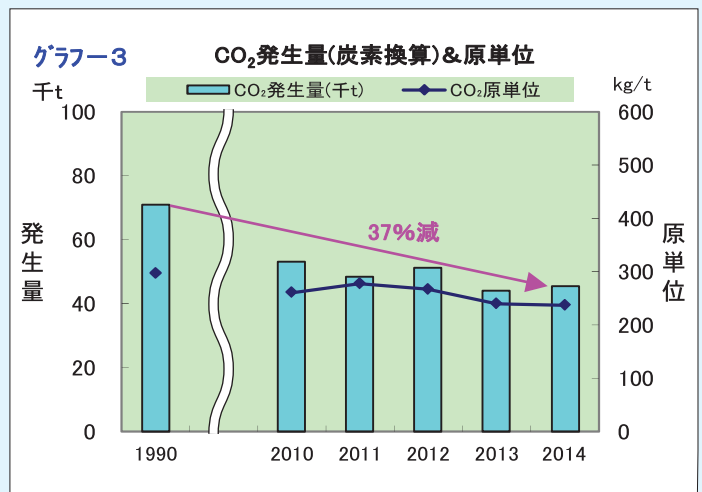
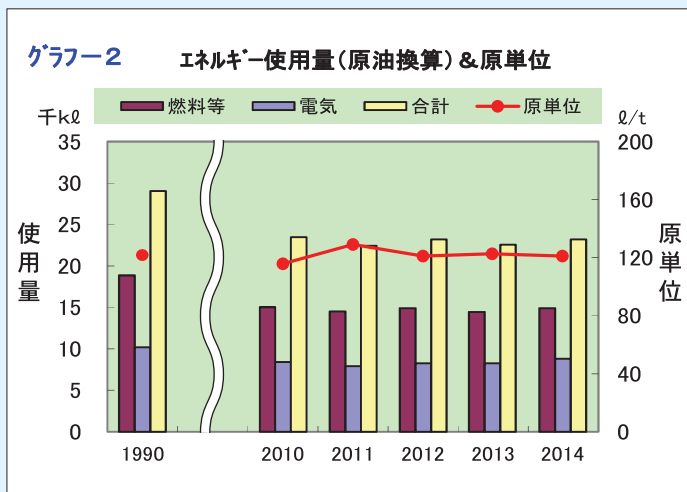


② 省エネルギーの推進

エネルギー原単位の改善及び二酸化炭素の発生量を削減するため、プロジェクトによる省エネ活動を積極的に行ない、プロセス改善、蒸気熱量の最適な有効活用、生産効率化、動力回転機器運転時間短縮や高効率タイプ導入などに取り組みエネルギー使用量削減活動を推進しました。(原油換算408kℓの削減)

2014年度の結果：(グラフー2、グラフー3)

- ・エネルギー原単位は省エネ成果により、目標である対前年1%改善を達成しました。2015年度も引き続き対前年1%改善目標達成に向けて、省エネ技術を結集し改善を推進致します。
- ・二酸化炭素の発生量は、生産数量が増加した為、目標である対前年1%改善とはなりませんでしたが、ベンチマークとしている1990年度と比較すると、37%の削減となっております。今後も省エネ活動を継続し地球温暖化の防止に努めます。



③ 大気関係

2012年度にボイラーの燃料を重油から都市ガスに転換し重油の使用を止めたことにより、大気中への硫黄酸化物(SO_x)の排出量はゼロになりました。また、窒素酸化物(NO_x)の排出量も大幅に削減しました。

④ 水質関係

工場の生産活動に伴って発生する廃水は、工場内の処理設備にて浄化処理を行い、公共下水道に排出しています。公共下水道の流入基準を外れない様、より厳しい自主管理値を設定し、管理を徹底しています。

また、雨水については鹿島港に放流しております。こちらも法規制値よりもより厳しい自主管理値を設定し、管理水質が自主管理値を万が一外れた場合でも、自動で放流を停止させる設備となっております。

(2) グリーン購入

当工場で使用する事務用品は、グリーン購入法に沿った環境負荷低減に効果のある商品（エコ事務用品・環境物品）を優先的に購入することを推進しています。工場内で使用している事務用品は336品目あり、その内151品目のエコ商品を購入しました。

今後はさらにエコ商品購入数の拡大を図り、エコ商品比率アップを目指します。

(3) 化学物質の排出・移動 (PRTR)

当工場のPRTR法に基づく対象物質で取扱量1t以上の物質は14品目で、2014年度の排出量、移動量の実績は次の通りです。

2014年度の総排出量は2013年度に比べて1kgの減少となりました。移動量が減少した原因は、当該製品生産の海外移転が進み、トルエンを含む廃棄物が減少したためです。今後とも化学物質の大気排出量の削減と管理強化に努力していきます。

①2014年度の排出量、移動量(kg/年、2013年度と比較)

環境汚染物質 排出量、移動量	総排出量		大気排出量	
		2013年 (85)	2013年 (85)	2013年 (85)
	2014年 (84)	2014年 (84)	2014年 (84)	2014年 (84)
	(-1)	(-1)	(-1)	(-1)
	移動量		水域排出量	
	2013年 (17,706)	2013年 (0)	2013年 (0)	2013年 (0)
	2014年 (10,222)	2014年 (0)	2014年 (0)	2014年 (0)
	(-7,484)	(0)	(0)	(0)
			土壌排出量	
		2013年 (0)	2013年 (0)	2013年 (0)
		2014年 (0)	2014年 (0)	2014年 (0)
		(0)	(0)	(0)

下水道への移動量は公共下水処理施設（深芝処理場）で無害化処理されて排出されています。また、廃棄物も助燃剤としてサーマルリサイクルされています。

②対象物質の排出量、移動量実績 (取扱量1t以上)

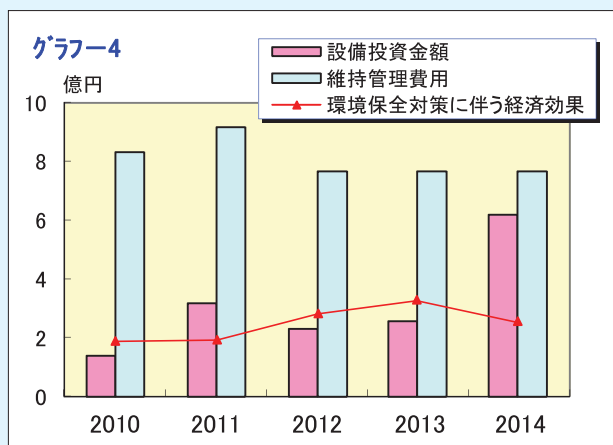
物質No	物質名	2014年度実績 (単位: kg/年)				
		排出量			移動量	
		大気	水域	土壌	下水道	廃棄物
20	2-アミノエタノール	0	0	0	0	0
37	4,4-イソプロピリ・ デンジフェノール	0	0	0	0	335
53	エチルベンゼン	34	0	0	56	40
59	エチレンジアミン	0	0	0	0	0
71	塩化第二鉄	0	0	0	0	0
80	キシレン	50	0	0	84	61
272	銅水溶性塩	0	0	0	0	0
300	トルエン	0	0	0	0	6,152
308	ニッケル	0	0	0	0	50
349	フェノール	0	0	0	0	0
368	4-ターシャリーブチルフェノール	0	0	0	0	3
392	ノルマルヘキサン	0	0	0	0	3,182
405	ほう素化合物	0	0	0	59	178
453	モリブデン及びその化合物	0	0	0	0	22
	合計	84	0	0	199	10,023
				84		10,222
		2013年度実績				
	合計			85		17,706

(4) 環境会計

環境汚染防止、省エネ、廃棄物削減等を図るために毎年設備投資を行っています。1998年度より環境省のガイドラインに沿った「環境会計」を集計し、環境保全コスト・環境保全対策に伴う経済効果等を把握して効率的な環境保全活動を行っております。

2014年度は「グラフ-4」に示すように環境関連の設備投資金額は6.4億円、維持管理費用は7.7億円となりました。また、環境保全対策に伴う経済効果は2.5億円となりました。これは省エネルギー、廃棄物の削減等によるものです。

今後とも効率的で効果的な環境投資を行い、環境汚染防止、省エネ、廃棄物削減等の環境保全活動を推進していきます。



4. 保安活動

1) 緊急事態への対応

地域社会の安全確保が重要として、当工場では、地震等の天災による不測の事態に対して、被害を最少限に食い止めるように従業員及び協力会社員が一体となり、各部門毎に種々の緊急事態を想定した教育・訓練を定期的に行っています。



2) 教育・訓練

① 公的資格取得者数

鹿島工場ではマネジメントシステムで定める役割、責任、権限を遂行するため全従業員を対象に年度計画で教育・訓練計画を作成し、周知と自覚の徹底を図っています。2015年3月末の主たる公的資格の取得者数は以下の通りです。

(2015年3月末現在)

	項 目		取得者数	必要人数
公害関係	公害防止管理者	大気1.2種	5	2
		水質1.2種	8	-
高圧ガス関係	高圧ガス製造保安責任者	化学(甲.乙.丙)	36	} 15
		機械(乙)	6	
		冷凍機	54	10
消防法関係	危険物取扱責任者	甲種	31	} 61
		乙種4類	138	
		乙種4類以外	35	
		丙種	11	-
	防火管理者		18	3
労働安全衛生法関係	衛生管理者 (東) (西) ボイラー技士 化学設備関係第1種圧力容器取扱作業主任者 特定化学物質等作業主任者 酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者 有機溶剤作業主任者 ガス溶接作業技能者	第1種	7	2
		第1種	2	1
			20	8
			82	27
			139	21
			138	該当者は全員取得
			161	26
	67	該当者は全員取得		
その他	フォークリフト運転技能講習 エネルギー管理士 (東) (西) 電気主任技術者 (東) (西) 電気工事士		185	該当者は全員取得
			6	2
			1	1
		第2種	1	1
		第3種	2	1
			19	該当者は全員取得

② 各種教育・訓練

コンプライアンス講習会、危険予知研修会、フォークリフト講習会等を開催し、従業員・協力社員が受講しました。訓練では、消火器訓練や屋外消火栓放水訓練、火災・漏洩対処訓練等を実施しました。今後も安全確保に關する教育・訓練を実施していきます。



危険予知研修会



防災本部訓練

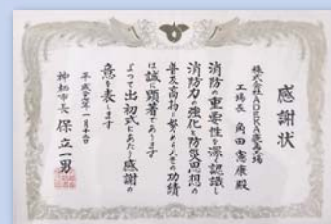


放水訓練

(TOPICS)

消防功労者表彰

2015年1月12日に開催された神栖市消防出初式において、下記の表彰を頂きました。今後とも、事故の未然防止と保安の確保を進めて参ります。



5. 労働安全衛生活動

1) 安全大会、環境・安全対策本部監査の開催

当工場では、災害ゼロを目指し決め事を守る風土を醸成するため、工場長をはじめ管理職、従業員、協力会社員で安全大会を実施し、安全への意識を確認し合いました。また、環境・安全対策本部監査として、安全成績、安全への取り組み内容について監査を受け、労働安全衛生活動の更なる向上に取り組んでいます。

2) ゼロ災活動

工場従業員及び協力会社員の災害ゼロ達成に向け、各職場代表者による工場ゼロ災リーダー活動を実施しています。具体的な活動として、ヒヤリハット活動の横展開や過去災害発生箇所の検証パトロール等により災害を未然に防止する活動を実施しています。

3) リスクアセスメント

当工場のリスクアセスメントは、IMS(統合マネジメントシステム)による3側面(品質、環境、労働)での評価を実施し総合的なリスク管理を行っています。総合判定したリスク評価結果が重大リスクと判断された項目は、積極的に改善活動を実施し対策に結びつけています。

4) 安全パトロール

当工場では、工場長をはじめとした管理職による職場パトロール、協力会社を中心とした安全衛生協力会による部会パトロール、定修パトロール等により、職場環境の点検を行い、改善に努めています。

5) 衛生活動

当工場では、健康診断の受診を積極的に進め、受診率100%を達成しています。更に、社員の健康増進にA D E K A ウェルネス運動(ウォーキング運動と禁煙運動)を推進中です。



6. コミュニケーション

1) コンビナートとの関わり

- ①情報交換 : コンビナート各社で組織する「環境対策連絡会」に参画して環境関連の情報交換を行い、環境改善に努めています。
- ②パトロール : 鹿島共同施設(株)(コンビナート各社共同出資会社)がコンビナート内及び周辺のパトロールを行い、各社(工場)間の異常事態の早期発見、早期処置に努めています。
- ③緊急連絡 : コンビナートには異常が発生した場合の「電話」及び「無線」による『連絡系統図』が整備されており、これに従って各社、相互連絡及び官庁への緊急通報を行います。

2) 地域との関わり

①レスポンシブル・ケア地域対話

2015年2月13日に日本化学工業協会鹿島地区RC連絡会の主催で、第9回レスポンシブル・ケア鹿島地区地域対話集会在開催されました。当工場にも19名の地域の皆様にお越し頂き、工場見学会や意見交換を通じて相互理解を深めました。



②定修工事

鹿島コンビナートでは、各社との原料や製品の供給がパイプラインで結ばれており、地区一斉に毎年5～6月に定期修理工事を実施しています。工事にあたっては、協力会社をはじめ工事関係者に「定修説明会」を行い、労働安全衛生及び周辺の環境に影響を与えないように配慮し、実施しています。

また、地域の代表の方々とのコミュニケーションを通して、お互いの意志疎通を図っております。



③工場周辺清掃・交通立哨

神栖市やコンビナート各社の方々、当工場に関わる協力会社の皆さんと共に工場近隣の道路及び緑地帯等のゴミ、空き缶の収集、清掃活動を行い環境美化を推進しています。また、工場正門にて交通立哨を実施し、交通ルールの遵守と交通マナーの向上を図っております。



④障害者文化祭

2014年12月に茨城県と茨城県障害者スポーツ文化協会の主催で「ナイスハートフェスティバル～障害者の文化祭～」が実施されました。

当工場は13回目の参加となり昨年に引き続き、当社製冷凍ケーキを贈らせて頂きました。地域社会との交流を深める有意義な機会であり、今後も積極的に取り組んでまいります。

また、神栖市、鹿嶋市、潮来市の障害者施設8ヶ所に890個のクリスマスケーキを寄贈しております。



⑤納涼祭

地域の方々と従業員及び家族との貴重な交流の場として、2014年7月に当社社宅にて納涼祭を開催し、親睦を深めました。



⑥鹿島アントラーズホームタウンデイズ『神栖の日』

2014年8月に鹿島アントラーズ主催のホームタウンデイズ『神栖の日』が開催され、ゲームイベントの賞品として当社製ポタージュスープを提供しております。



鹿島工場概要

所在地：東工場 茨城県神栖市東和田29番地
西製造所 茨城県神栖市東深芝5番地

敷地：東工場 15万平方メートル 西製造所 10万平方メートル
操業開始：東工場 1970年 西製造所 1990年

人員：528名（協力会社を含む、2015年3月末現在）

主な製品：〔化学品〕 塩素系無機製品、高純度薬品、
金属石鹼、コロイダルシリカ
〔食品〕 食用油、マーガリン、ショートニング、
ホイップクリーム

沿革：1917年 旭電化工業株式会社設立（東京都荒川区尾久）
1965年 鹿島臨海工業地帯進出決定
1970年 塩素系誘導品製造プラント稼働
1975年 食用油脂・マーガリン・ショートニング製造プラント稼働
1986年 無機系高純度薬品製造プラント稼働
1990年 西製造所（化学品・食品）稼働
1993年 有機系高純度薬品製造プラント稼働
1995年 TPM優秀賞第1類受賞
1996年 ISO9002認証取得
1998年 ISO14001認証取得
2002年 HACCPシステム承認取得
OHSAS18001 認証取得
ISO9001 2000年版移行認証取得
2004年 TPM優秀継続賞第一類受賞
2005年 労働安全衛生活動茨城労働局長奨励賞受賞
2006年 「株式会社ADEKA」に社名変更
2007年 TPM特別賞受賞
2008年 高圧ガス保安原子力安全・保安院長賞（優良製造所）受賞
IMS(統合マネジメントシステム) 適合取得
2010年 高圧ガス保安経済産業大臣表彰（優良製造所）受賞
2011年 FSSC22000認証取得（西製造所 食品）
2013年 厚生労働省労働基準局「無災害記録証第2種」表彰
2014年 FSSC22000認証取得（マーガリン・ショートニング製造プラント）



この環境レポートに関する質問、ご意見は下記の窓口へお願いします。

作成 株式会社ADEKA 鹿島工場 業務部 環境保安課

窓口 株式会社ADEKA 鹿島工場 業務部 業務課
〒314-0102
茨城県神栖市東和田29番地
Tel 0299-97-3360 Fax 0299-96-2243

